

2008年10月10日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

第3回 あゆみの家 重度肢体不自由者(児)ホテル宿泊体験

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

あゆみの家を開所し、子ども達が生活訓練を重ね、少しずつであるが成果が見える。しかし将来親亡き後、他人の中での生活を少しずつ体得していかなければならない為に、外での宿泊訓練が必要とされる。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

一泊宿泊訓練を、あゆみの家の親子、パートさん、ボランティアさんと、湯沢ニューオータニホテルにて行いました。当初、富士レークホテルを予定していましたが、日程の関係で、ホテルが変更になりました。初めてのホテル、いつものあゆみの家のお風呂とは違う環境での入浴訓練、食事も子どもの状態に合わせ、普通食・一口大食・きざみ食・ミキサー食などホテルにお願いする。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回は初めての宿泊場所となった湯沢ニューオータニホテルですが、事前の実踏、打合せにより、ホテル内の段差解消・貸切風呂の予約・食事の内容(食事形態)・ゆったりした部屋など、ホテル側の配慮が見られました。チェックイン時間も早めていただき、心も体もゆったりした気分で、いつもの生活とあまり変わらず、混乱も無く過ごすことが出来ました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

初めての宿泊場所で、子ども達の精神面が心配されましたが、家を出てから直接ホテルへ、そしてホテルでの昼食、早めのチェックインで体を休ませ、落ち着いたところで貸切風呂の温泉大浴場へ、一時間だけの貸切という短時間での入浴、考える暇もなくお母さんたちは男の子たちからとりあえず入浴、今回は男性のボランティアが2名参加してくださり、入浴介助、車イス介助と力を貸してもらい本当に助かりました。子ども達は、湯舟の中で体をいっぱい伸ばし、気持ちよさそうに入浴していました。夕食の食事形態も思う通りに調理してくださいました。二日目は、湯沢アルプの里見学、前もってロープウェイの予約を入れ、山頂まで上り、子ども達の何とも言えない笑顔、おいしい空気ときれいな花、高原植物を見学し自然を満喫できました。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし